



青南だより

令和2年4月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜地道な健康管理の積み重ねを＞

3月18日の修了式は、前例のない形でしたが、在園児からのビデオメッセージを披露することもできました。多くの皆さんのご支援に深く感謝する、忘れられない時間となりました。その後、春休みの間、園庭の桜とかえでは今年も我々の目を楽しませてくれました。しかし、その園庭で遊ぶことができなくなってしまいました。とても残念ですが、ご家庭でも「早寝早起き朝ごはん」を心掛け、元気にお過ごしください。手洗いを丁寧にし、毎日の検温と記録もお願いします。

＜毎日幼稚園に通えることは当たり前ではない＞

昨年、初めての保護者会で「毎日通って来てくれることは、決して当たり前なことではありません」と話しました。この春まさかその言葉をこれほど実感することになるろうとは思いませんでした。臨時休業の継続は、園生活の特性を考えると極めて妥当な判断だと思えます。それを受け、担任たちは、自己紹介や家庭での過ごし方のヒントを入れた学年だよりを作りました。園生活が再開したときに、みんなが元気に通って来られるように、確実な体調管理をお願いします。

＜新たな一年もどうぞよろしくお願いします＞

この春、あちこちの改修工事を実施し、全教職員で園内の美化や環境改善も行いました。人事異動もあり、新たな仲間を迎えた全教職員で、子どもたちのよさや可能性を引き出すべく保育の構想を練っていましたが、今後も状況に応じて対応していくことになります。園からの連絡のために、緊急メール配信システムへの登録をお願いします。教育委員会や幼稚園のホームページでも積極的に情報発信をしていきますので、ご覧いただきたいと思います。一年間どうぞよろしくお願いします。

・・・卯月（うづき）・・・

せいめい

清明（4日）… 園庭の花が鮮やかな彩りを見せます …

こくう

穀雨（19日）… 草木の緑が一気に伸びていきます …

都会でも、道端に咲く可憐な花などに出会う機会はたくさんあります。港区は意外と自然が豊かです。勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続け、すでに15年近くになります。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思い、続けているコラムです。「青南の二十四節気」も4年目を迎えます。この小さなコラムが、皆さんの身近な自然の変化に思いを寄せるきっかけになれば幸いです。

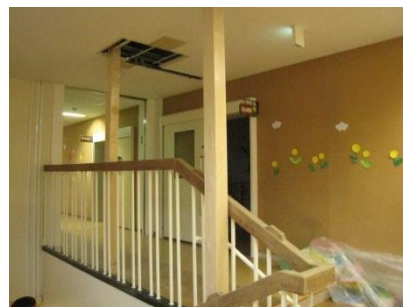
青南の 二十四節気



在園児から修了児へのビデオメッセージ



異例ながらも心に残る体育館での修了式



階段の手すりも補強されて安心感抜群に



樹木剪定は見ていて懂れる仕事です



春の名物、かえでと桜のコントラスト